

■工事発注前三者検討会

- ・[定義] **工事発注前に、現場施工プロセスを反映した質の高い設計や施工**を目指すため、設計者・施工者・発注者が協働し、計画・設計・施工の技術的知識の相互交換する取組
- ・[設立背景] 現場と設計の乖離による入札不調や工事一時中止の抑制
- ・[対象業務] **重要構造物や複雑な仮設工を含む詳細設計・調査等業務**
- ・[開催方法] 対象業務のうち、発注者が必要性を判断した業務で実施
- ・[参加者] 【発注者】担当員、主任担当員、出張所長や事業課主幹等
【施工者】各地方建設業協会から推薦された土木委員等
【設計者】当該現場に係る詳細設計・調査等受託会社の管理技術者、担当技術者等



●具体的対応●

- <入札前> 設計図書の特記仕様書に対象業務の旨を記載
発注者は、設計者及び施工者の会議参加費を積算で計上
- <契約後> 発注者(出張所等)と設計者で日程調整し、
発注者(設計積算管理委員会)が施工者(各地方建設業協会等)と、
日程調整した上で、会議開催
会議開催後、設計者は協議簿作成し、会議資料は入札閲覧室で公開



・試行中は**アンケートを実施し、会議手法の課題を抽出して改善を進める。**